

神話の故郷 早春の山の辺の道を訪ねる

3月例会 (歴史文化クラブ担当)

(3月26(火) 晴 参加者 32名)

(行程) JR三輪駅⇒大神神社若宮社⇒大美和の杜⇒狭井神社⇒玄賓庵⇒檜原神社⇒万葉歌碑の丘(昼食)⇒景行天皇陵⇒崇神天皇陵・櫛山古墳⇒中山大塚古墳⇒西殿塚古墳⇒西山塚古墳⇒大和神社⇒JR長柄駅

穏やかな天気にもぐまれ、三輪山をめぐる早春の山の辺の道を歩きました。案内は、杉本登、古川祐司、坂東久平の世話人が担当しました。記紀にも登場する神話や伝承を紐解きながら、万葉歌碑に古人の想いをしのび、ヤマト王権の成立を物語る最古の前方後円墳の解説に耳を傾け、文字通り歴史とロマン一杯の例会となりました。

大神神社若宮社は、三輪山の大神主神の子、太田田根古を祀っていますが、元は大神神社の神宮寺でした。明治の廃仏毀釈の際、神社の本殿と主張して廃棄を免れ、本尊の十一面観音は聖林寺へ移し国宝として現存します。時代の嵐に翻弄された寺社の歴史の証人と言えるでしょう。



大美和の杜・展望台にて

大美和の杜からは、奈良盆地が一望できる抜群の展望が開ける。金剛・葛城・二上山、青垣山に囲まれた国中(くんなか)に浮かぶ大和三山の姿は、まさに「やまとは国のまほろば」の言葉通り。神武天皇と五十鈴姫のロマンスの地の狭井川と狭井神社を訪ねて、次は、三つ鳥

居で有名な檜原神社へ。ここは元伊勢ともいわれませんが、二上山への眺めは最高。昼食は、万葉歌碑の丘で三輪山に見守られていただきました。ここで、初期古墳についての講義がありました。



万葉歌碑の丘で昼食

午後は古墳と万葉歌碑をめぐる路になります。景行天皇陵、崇神天皇陵などの柳本古墳群に入ると道沿いに柿本人麻呂などの歌碑が並び、満開の梅や咲き初めた桜が目を楽しませます。最終行程の大和古墳群には、手白香皇女の陵とされる西殿塚古墳のほか、中山大塚古墳、西山塚古墳があり、古墳談義は佳境に入ります。



西殿塚古墳(衾田陵)

終点は大和(おおやまと)神社。氏子代表を務めた山中さんの説明では、大神神社、石上神社と並んで日本最古の神社です。四月一日のチャンチャン祭りにはぜひお越しくださいとの一言があり、これで例会は無事終了。心地よい疲労と、古代ロマンの余韻に浸りながら帰途につきました。

(文責 坂東久平)